

清掃活動に汗流す

美作地区
6 高校生
吉井川水系周辺

美作地区の高校6校の生徒有志約300人と地元住民らが7日、吉井川(吉野川、宍粟川)水系周辺の清掃

活動に汗を流した。

美作国建国1300年の記念すべき年に高校生が協力し、同水系の環境保全や水質向上に目を向け、国土交通省が定めた川の日である7月7日に合わせて初めて実施。団体名を「高校生による吉井川水系をきれいにする会」とし、この日は津山、津山東、津山工、津山商、作陽、勝間田高の生徒有志とPTAや地元住民が参加。広範囲の清掃に取り組んだ。午前9時に吉井川今井橋付近の津山河岸緑地公園に集まった各校生徒を前に、生徒代表の沼本奈々さん(津山



吉井川沿いのごみを拾い集める高校生

高3年)が「高校生パワーを地域のために生かし、天の川のようにきれいな川を目指しましょう」とあいさつ。その後、高校生らは手に火ばしやゴミ袋を持ち、担当の場所へ移動。

土手の草の間などからペットボトルやトレイ、菓子の空き袋などさまざまなゴミを集めて回った。高校生からは「こんなに多いとは思わなかった」という声もあり、約2時間にわたって清掃に励んだ。